

BARÁTSÁG

バラッチャーグ(友情)

日本ハンガリー友好協会会報

2023年12月22日発行

発行所: 日本ハンガリー友好協会

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-28-11

クレール五反田609号

TEL: 03-3473-9870 FAX: 03-3440-9495

<http://www.jpnhun.org>

No.177

2023年度総会、懇親会開催される

2023年6月24日(土)午前11時より城西大学東京紀尾井町キャンパス1号棟において2023年度総会が開催されました。出席者数は総会員数372に対して委任状を含めて133でした。総会では議長に清水理事長を選出し、2022年度活動報告と決算報告、2023年度活動方針と予算案が審議され全て承認されました。そして理事19名、監事2名(別記)が選出されました。総会後の理事会においてその他の役員16名(別記)及び運営委員会委員9名が選出されました。

■ 総会に続き行われたミニコンサートでは、田代誠さん、吉川歌穂さん、渡辺将大さん、伊澤萌音さんによるオペレッタ「メリー・ウィドウワルツ」他3曲とモンティー「チャールダーシュ」のヴァイオリン演奏を披露。素晴らしい歌声に皆さん魅了されました。



■ その後、会場を食堂に移し、瀬川常務理事の司会で懇親会となりました。久しぶりに出席された河野会長は、ハンガリーフェスティバルと日本フェスティバルを双方の国で交互に開催したこと、2019年のエリザベト橋のライトアップなど、ハンガリーとの40年にわたる長いかわりについてお話しされました。



■ 続いてパラノビチ大使から、今年は久しぶりに大使館で新年会が開催でき、こうして総会も開催されて嬉しく思います。今年最大のイベントが岐阜多治見で開催され、夏には世界陸上、10月には空手世界選手権がブダペストで開催されます。また、ヴェスプレムが欧州文化首都になり、300以上のイベントを計画していますと、挨拶されました。



■ 続いて、7月に退任されるリスト・ハンガリー文化センター所長のナジ・アニタさんに北村副会長から花束が贈呈されました。ナジ・アニタさんからは、2016年から大使館の文化担当官として勤務し、2019年12月にオープンした文化センターで所長として勤務してきました。在任中にたくさんの仕事に関わりましたが、ブダペスト展で紫のドレスの女性の絵を展示できて良かったです。皆さんへの感謝の気持ちを会報で述べさせていただきますと、挨拶されました。



■ 北村副会長から城西大学・城西国際大学は今年大学10校と提携を結び日本から100名、ハンガリーから400名の留学生を受け入れたと報告され、今後もハンガリーとの交流に力を入れていくと乾杯の挨拶をされました。



■ ハンガリーの美味しいワインとケータリングのお料理を食べながら、半年ぶりの交流を深め、思い思いに写真を撮りながら楽しみました。



■ 最後に清水理事長が中締め挨拶をされ、恒例の集合写真を撮り、来年の新年会での再会を楽しみにそれぞれ家路へと向かいました。



ナジ・アニタさん、離任のご挨拶



日本ハンガリー友好協会会報「バラッチャーグ」でご挨拶の機会を頂戴し有難うございます。6年強の駐日ハンガリー大使館と文化センターで任務を終えましたナジ・アニタです。2017年に駐日ハンガリー大使館に文化・教育担当官として着任し、2019年12月に開設されたハンガリー文化センター(2021年からリスト・ハンガリー文化センターに改名)の初代所長に任命されました。着任してからあつという間に時間が過ぎ、2023年7月31日をもって外交官としての仕事を終わりました。「あつという間に」と言いながらも実に濃い6年でした。ここに、離任の挨拶を今までの総括の良ききっかけと思ひ任期中の主な出来事と大きなイベントを集めてみました。

着任してからの2年半は大使館で文化担当官として任務に当たり、その間には『コダーイ没50周年の記念コンサート』、『詩人アラニ・ヤーノシュ生誕200年の記念コンサート』、『センメルヴェイス医師胸像の設置(於:広尾の日赤医療センター)』などが特に思い出に残っています。

2018年から翌年の「日本・ハンガリー外交関係開設150周年」のイベントの準備が進められ、世界中のハンガリー文化センターのネットワークの25番目として、今後の二国間交流への貢献が期待されるものとして東京の文化センターの開設が決まりました。文化センターは2019年12月に記念年の締めくくりとしてオープンしましたが、2019年は年間を通じて日本国内で日本ハンガリー友好協会、又はその会員によって企画されたイベントを含め200近くの行事が実現しました。その中でのハイライトとしては、ハンガリーから大相撲の優勝力士に贈られるヘレンドの「ハンガリー友好杯」が新しくなり、ヴィクトリア柄のデザインが施されたカップ&ソーサーとして生まれ変わりました。

ハンガリー・ブダペスト交響楽団は、サントリー

ホールをはじめ日本各地で来日公演を行いました。また、25年ぶりにブダペスト西洋美術館とハンガリー・ナショナル・ギャラリーの所蔵品が紹介される「ブダペスト」名品展は東京の国立新美術館で開催されました。

麻布十番という立地条件が素晴らしい場所にオープンした文化センターも、少しずつ知られていくと思っていた矢先に、新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、センターがオープンして半年も経たない時に臨時休館せざるを得ませんでした。2020年の夏に再開できたにも関わらず、人数制限などでフル稼働ができない上、長期間に亘りハンガリーからアーティストも来日できませんでした。2021年の東京オリンピック・パラリンピック大会中も、想定以上に静かな環境の中で1964年の東京オリンピック、及び2021年の東京大会参加ハンガリー選手を紹介する写真展等を開きました。

コロナの状況が落ち着いてからは、任期の最後の大きな仕事として「2023年の欧州文化首都ヴェスプレーム」の紹介イベント、そして岐阜県現代陶芸美術館で「やきものうたう：ハンガリー現代陶芸展」の開催に携わりました。

今後、文化センターが大きく羽ばたくと思いますので、今まで同様に日本ハンガリー友好協会の皆様に活動を温かく見守っていただき、イベントにご参加いただければありがたいです。



言うまでもなく、文化担当官と文化センター所長の仕事は一人ではできません。任期中に多くの方にお世話になり

サポートと協力していただきました。日本とハンガリー両国間の文化交流において、欠かすことができない存在である日本ハンガリー友好協会の皆様方、2017年の着任前からお世話になっている方々、大使館の仕事を通して知り合った方々にはこの良き機会に改めてお礼申し上げます。皆様との大切なご縁に感謝し、それを今後も大事にしていきたいと思ひます。皆様、本当に有難うございました。

日本ハンガリー友好協会2023年度役員 (敬称略)

会長:河野洋平 副会長:北村幸久、小林研一郎、間宮芳生 理事長:清水祥之 専務理事:猪谷晶子
常務理事:瀬川隆生、羽場久美子(新任) 理事:東孝江(事務局次長兼務)、江寄正邦、岡島有孝、
糸栄美子、後藤田夫規子、佐々波浩一(事務局長兼務)、佐藤地、佐藤義雄、田崎龍一、田代慎之介
(新任)、田中純子、萩原淑子、向山毅、渡辺武志(新任) 監事:内藤貴昭、松尾守之 理事補佐:中谷
治芳 顧問:雨宮一正、伊藤和矢、堤功一、鍋倉真一、福井直敬

2023年度日本ハンガリー友好協会総会報告

2022年度 活動報告(2022年4月1日～2023年3月31日)

2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響が、徐々に収束に向かいました。

年次事業

(1)2022年度総会・懇親会報告

2022年6月11日(土)12時より四谷の主婦会館プラザエフにおいて2022年度総会が開催されました。コロナ禍のため2020年度、2021年度は書面表決でしたので3年振りの開催となりました。出席者数は3月末現在の総会員数439に対して委任状を含めて164でした。総会では議長に鍋倉理事長を選出し、2021年度活動報告と決算報告、2022年度活動方針と予算案が審議され全て承認されました。そして理事19名、監事2名(別記)が選出されました。鍋倉理事長は理事を退任、新任理事として北村幸久氏が選出されました。また総会後の理事会において新任理事長に清水祥之氏が選出されました。

続いて会場を地下2階クラルテに移し、懇親会を開催しました。会員49名と駐日ハンガリー大使館からパラノビチ大使以下4名のご参加を頂きました。そしてパラノビチ大使から当協会顧問の雨宮一正氏に騎士十字功労勲章が授与されました。懇親会の詳細は2023年1月5日発行の会報Barátság(友情)175号に掲載しました。

日本ハンガリー友好協会 2022年度役員

(敬称略、同一役職あいうえお順)

会長:河野洋平 副会長:北村幸久(新任 理事兼務)、小林研一郎、間宮芳生 理事長:清水祥之(新任) 専務理事:猪谷晶子 常務理事:江崎正邦、瀬川隆生 理事:東孝江(事務局次長兼務)、岡島有孝、糸栄美子、後藤田夫規子、佐々波浩一(事務局長兼務)、佐藤地、佐藤義雄、重松聡、田崎龍一、田中純子、萩原淑子、羽場久美子、向山毅、山川秀明、監事:内藤貴昭、松尾守之 理事補佐:中谷治芳 顧問:雨宮一正、伊藤和矢、堤功一、鍋倉眞一(新任)、福井直敬

(2)新年会

2023年2月4日(土)に駐日ハンガリー大使館にて開催し、会員73名が参加しました。新年会の詳細は6月2日発行の会報Barátság(友情)176号に掲載しました。

広報活動

(1)会報「BARÁTSÁG(友情)」の発行

会報は以下の通り発行いたしました。

NO.174号発行 2022年6月9日

NO.175号発行 2023年1月5日

(2)友好協会ホームページの充実

ホームページ及びブログではイベントをはじめとする詳細なハンガリー関係情報を紹介しました。最近ではヴェスプレーム・バラトンが欧州文化首都に選ばれたことに関連するイベントを紹介しました。

(3)工芸美術館ブダペスト展 目録贈呈

駐日ハンガリー大使館文化部から贈呈された工芸美術館ブダペスト展目録を希望する54名の会員に配布しました。

ハンガリー語講座

2023年3月現在、中級コース(毎週火曜日)6名、研究コース(隔週金曜日)5名、計11名の方々が受講中です。講師はバログ・マルトンさんと大島一さんをお願いしています。中級コースは引き続きオンラインレッスンですが研究コースは2022年度より事務所でのレッスンを再開しています。

後援名義使用依頼

当協会の名義後援依頼は音楽関係の公演6件があり、運営委員会で検討し、全件承認しました。

協会員数

2022年度の新規入会は、個人会員3名、法人会員2社(亀田総合病院、NTTデータ)となっています。2023年3月末の会員数は、個人会員292名、家族会員82名、法人会員15社、サークル会員6団体となっています。

各種会議等の開催

【総会】

2022年6月11日(四谷 主婦会館プラザエフにて開催)

【理事会】

2022年5月27日 第1回理事会(オンラインにて開催)

2022年6月11日 第2回理事会(四谷 主婦会館プラザエフにて開催)

2022年6月15日～23日 第3回理事会(書面にて開催)

【運営委員会】

2022年4月13日(協会事務所にて開催)

文化と音楽の都市・ヴェスプレームより

2023欧州文化首都ヴェスプレームでは、EU・ジャパンフェスト日本委員会からの資金サポートで、多くの日本アーティストが登場し、日本とハンガリーの友好交流も生まれた。

「サークル・オブ・ライブ展」

ヴェスプレーム城内にある現代美術館ドゥブニツァイ宮殿に、画家リーヴィース安奈さんと創作こけし作家トート・ヴァーシャルハイ・レーカさんの作品が展示された。この共同展はミネルバ・ヴェスプレーム日本センターが主催、岐阜県ハンガリー友好協会の協賛も得て開催され、オープニングセレモニーの大鷹日本国大使、ボルガ市長の挨拶では、二国間の文化交流の重要性が強調された。展示期間中は多くのハンガリー人・外国人観光客が、



「ハンガリーで美術を学んだ日本人」と「日本の芸術を習得したハンガリー人」のアートを鑑賞し、二つの国の文化の融

合を堪能した。

「ヨーロッパ青少年音楽祭」

国際音楽祭に所沢フィニーニュ少年少女合唱団が参加し、地元のVVVボーカル合唱団と一緒に舞台上に登場。渡航した約40人の日本の子どもたちは、ハンガリーの合唱団の家にホームステイして数日を過ごし、音楽以上のふれあいがあった。また、本番前に三味線のバチが落ちて折れてしまうハプニングが発生し、ハンガリー人三味線奏者が代わりを届けてピンチを救う、という思わぬ交流もあった。

「日本庭園」

市民の憩いの場として、ミネルバ・ヴェスプレーム日本センター隣の公共スペースに造園。古都の景観に合う庭園が森田高尚氏(中部復建(株)技術顧問)によって設計され、日本語学習者ボランティアと一緒に作業が進められた。

資金の一部はハンガリー日本経済クラブ、アカデミア・ヒューマン基金から



支援を受け、桜は在日日本国大使館より、紅葉は在日日本商工会より寄贈された。芝が美しくなる2024年の春には野点も計画されており、今後は四季折々の日本文化イベントで国際文化交流が行われる予定。

「クラシック・コンサート」

ユネスコ音楽分野認定都市ヴェスプレーム市で、地元のメンデルスゾーン室内オーケストラと、長尾春花さん(バイオリン・オペラ座コンサートマスター)、水野魁政さん(ピアノ)、清水陽介さん(チェロ)が共演。指揮は金井俊文さん(ソルノク市立交響楽団)で、リスト音楽院のサバディ・ヴィルモシュ教授、オンツァイ・チャバ教授、ファルバイ・シャーンドル教授のGIFUトリオも仲間入りした。この日本関連事業はInterUrbán国際総合芸術プロジェクトの中で企画され、マジヤール・スズキの協賛で実現した。



©Pesthy Márton

最後に… 私はヴェスプレームに移り住んで23年が経つ。普段は日本語教育とツーリズムに携わっているが、今年はこのような文化芸術の世界で従事することができた。せっかくなので、私が日常の中で出逢って印象に残ったハンガリー人アーティストを皆さまにご紹介してレポートを終わりにしたい。これはゲリラ彫刻家Kolodko Mihály氏の作品。犬の散歩コースで発見した。他にもあと2つ、ヴェスプレームの重要な場所に設置されていて、街の歴史と生活の空間に溶け込み、さりげなく存在している。



マルギット遺跡の近くにあるミニ彫刻：少女&ライオン

ミネルバ・ヴェスプレーム日本センター代表
森田友子

パラノビチ・ノルバート大使 退任レセプション



2016年11月に着任されたパラノビチ・ノルバート大使が9月末で退任されることになり、9月21日(木)22日(金)の二日間に分けて、退任レセプションがハンガ

リー大使館で18時30分より開催されました。政治、経済、文化、学術など様々な分野から200名が出席されました。演壇の背後には、城西大学を初め企業の生花が並び、河野会長と清水理事長の生花も添えられました。



コバーチ・エメシュ文化担当官(ハンガリー文化センター)の司会で始まり、パラノビチ大使から、以下の挨拶(大要)がありました。

「私が日本で大使として過ごしてきた素晴らしい7年間でした。大使の指名を受けた時、身体に鳥肌がたった瞬間を今でもよく覚えています。第二の故郷と思っている国・日本で、母国を代表する崇高な任務を受けることができることに感動し、大使としての最初のレセプションでのスピーチは、震えていたことをよく覚えています。

2国間の友好関係を新たな高みに引き上げることが私の長年の願いでした。東京だけでなく地方でもハンガリーの知名度を上げ、既にある交流を高め、また新しい交流を生み出しました。外交関係150周年記念して素晴らしい文化センターを開設し、教育、スポーツ、化学等の分野でも貢献しました。医学の分野では、カリコ・カタリン博士が新型コロナウイルスのワクチンで皆様の手助けをしました。

私は今後の両国関係を維持・発展していくために、私の人生での初めての日本企業、TDK株式会社に入社します。私の信じている日本の企業に付加価値を与えられるように努力し、彼らの信頼に応えるよう感謝の気持ちを持って全力を尽くしていきます。

自分の経験を生かして、アウトサイダーと

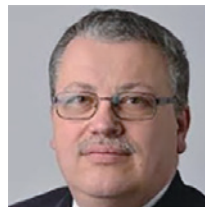
しての知識が必要であるならば、私を役立ててください。コンサルタントとして、あるいは社外取締役として喜んでお手伝いいたします。



大使館のスタッフを引き続きサポートして頂きたい。私の後任に絶大なサポートをお願いします。次期大使が着任するまでのしばらく間は、代理大使のセンドレイ・ティボルが勤めておりますので、合わせてよろしくお願い致します。最後に、愛と忍耐をもって、私を支えてくれた妻・シャロットに感謝します。」

この後、大使の音頭で乾杯を行い、ハンガリーワインと料理をいただきながら、出席者は大使を囲んで別れを惜しんでいました。

センドレイ・ティボル・チャバ 特命全権公使



新しい大使が着任されるまで、センドレイ特命全権公使(次席)が大使館業務を代行されることとなります。職歴をご紹介します。

2023/7/01 駐日ハンガリー大使館特命全権公使：次席

2022/5/15～2023/6/30 在エディンバラ・ハンガリー総領事館：次席

2018/3/25～2022/5/14 在エディンバラ ハンガリー領事館 副領事(領事代理)

2016/8/15～2018/3/24 在ロンドン ハンガリー大使館 特命全権公使(領事担当)

2014/7/01～2016/7/14 ハンガリー法務省 次官補(財務及び管理担当)

【学歴】2012 セント・イシュトヴァーン大学(グドゥルー)経済学修士、2004ペーチ大学修士

【言語】英語、インドネシア語、ハンガリー語

日本ハンガリー友好協会 2022年度収支報告

【収入の部】

(単位：円)

	予算	2022年度実績	備考
前期からの繰入	7,959,890	7,959,890	
当期収入	会費	1,033,000	個人、家族、サークル
	入会金	20,000	
	カンパ	176,500	
	法人会費	1,750,000	
	県協会協賛金	220,000	5協会・支部
	広告収入	120,000	会報への広告掲載 スズキビジネス
	国内事業収入	900,000	総会及び新年会、 昨年新年会払戻金39.7万円
	雑収入	40,027	ハンガリー語講座事務所 使用料、金利
	調整	0	0
	計	4,259,527	3,665,349
収入合計	12,219,417	11,625,239	

【支出の部】

(単位：円)

	予算	2022年度実績	備考
当期支出	印刷郵送費	800,000	452,894 会報発行、 郵送料(発行2回)
	国内事業費	1,450,000	926,045 新年会1回、総会1回
	事務所経費	400,000	450,386 水道、電話、インターネット、 アルバイト料等
	業務委託費	500,000	540,000
	事務所家賃	815,510	815,510 照明修繕費用差引
	文房具	30,000	2,866
	交通費	60,000	77,272
	会議費	10,000	0
	IT関連費	20,000	0
	会報ホームページ関連	0	0
	予備費	50,000	18,425
	寄付(150周年事業費)	0	0
	計	4,135,510	3,283,398
	当期収支	124,017	381,951

次期繰り越し	8,083,907	8,341,841
緊急人道支援基金含む繰越	8,609,700	8,867,638

現預金残高

2023年3月31日

ゆうちょ銀行	6,915,672
みずほ銀行五反田支店	1,351,240
みずほ銀行九段支店	74,620
小口現金	309
現預金合計	8,341,841

注記：

収益及び費用の計上基準：発生主義ではなく、現金の移動に伴う現金主義で作成

2022年度収支報告書及び関係書類を精査した結果、いずれも適正かつ正確であったことを認めます。

2023年5月2日 監事 松尾守之 ㊞
監事 内藤貴昭 ㊞

別会計 銀行残高

緊急人道支援基金	525,797
----------	---------



2022年度ハンガリー語講座 特別会計報告(2022.4.1~2023.3.31)



【収入の部】

(単位：円)

	予算	2022年度実績	備考
前期からの繰越	1,223,063	1,223,063	
当期収入	受講料	858,000	66,000の先払あり
	教科書代入金	0	0
	雑収入	10	12 預金利息
	計	858,010	929,512
収入合計	2,081,073	2,152,575	

【支出の部】

(単位：円)

	予算	2022年度実績	備考
当期支出	講師料	726,000	671,000
	事務用品	2,000	0
	クラス研修費	80,000	0
	事務所使用料	60,000	30,000 事務所使用回数は18回
	教科書代	0	0
	雑費	10,000	6,765 振込手数料
	小計	878,000	707,765
	当期収支	-19,990	221,747

次期繰り越し	1,203,073	1,444,810
--------	-----------	-----------

期末預金残高

銀行預金口座	1,444,810
小口現金	657
現預金合計	1,445,467

注記：

収益及び費用の計上基準：発生主義ではなく、現金の移動に伴う現金主義で作成

2022年度収支報告書及び関係書類を精査した結果、いずれも適正かつ正確であったことを認めます。

2023年5月2日 監事 松尾守之 ㊞
監事 内藤貴昭 ㊞



日本ハンガリー友好協会 2023年度活動方針



新型コロナウイルス感染症の収束に応じて、開催の可否を判断する活動になると思われ
ます。

- ① 新年会を開催する
- ② 会報を発行する。
- ③ サークル活動を支援する。
- ④ ハンガリー語講座を実施する。

- ⑤ ホームページの充実と有効利用を図る。
- ⑥ 協会ブログにより、情報の迅速な伝達を図る。
- ⑦ 後援依頼事業の内容を精査し、妥当な事業への後援を行う。
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症の収束状況に応じて、対面イベントの開催を検討する。



2023年度予算案



【収入の部】

(単位：円)

科目	予算	2022年度実績	備考
前期からの繰入	8,341,841	7,959,890	
当期収入	会費	891,000	891,000 個人、家族、サークル
	入会金	8,000	8,000
	カンパ	207,000	207,000
	法人会費	1,850,000	1,850,000
	県協会協賛金	220,000	240,000 5協会・支部
	広告収入	120,000	120,000 会報への広告掲載スズキビジネス
	国内事業収入	720,000	319,330 総会及び新年会
	雑収入	19	30,019 ハンガリー語講座事務所使用料廃止
調整	0	0	
計	4,016,019	3,665,349	
収入合計	12,357,860	11,625,239	

【支出の部】

(単位：円)

科目	予算	2022年度実績	備考
印刷郵送費	480,000	452,894	会報発行、郵送料(発行2回)
国内事業費	920,000	926,045	新年会1回、総会1回
事務所経費	450,000	450,386	水道、電話、インターネット、アルバイト料等
業務委託費	540,000	540,000	
事務所家賃	811,950	815,510	事務所修繕費28,050差引予定
文房具	30,000	2,866	
交通費	77,000	77,272	
会議費	10,000	0	
IT関連費	20,000	0	
会報ホームページ関連	110,000	0	Word Pressテンプレートサイト制作
予備費	50,000	18,425	
寄付	0	0	
計	3,498,950	3,283,398	
当期収支	517,069	381,951	

次期繰り越し	8,858,910	8,341,841
--------	-----------	-----------



2023年度ハンガリー語講座 特別会計予算案



【収入の部】

(単位：円)

科目	予算	2022年度実績	備考
前期よりの繰越	1,444,810	1,223,063	
当期収入	受講料	709,500	929,500 火曜1名減前受分差引
	教科書代入金	0	0
	雑収入	12	12 預金利息
収入計	709,512	929,512	
収入合計	2,154,322	2,152,575	

【支出の部】

(単位：円)

科目	予算	2022年度実績	備考
講師料	671,000	671,000	前年並みを想定
講師交通費	30,000	0	今年度から支給リアルは2/3を想定
事務用品費	0	0	
クラス研修費	0	0	
事務所使用料	0	30,000	今年度から廃止
教科書代	0	0	
雑費	6,765	6,765	振込手数料、前年並みを想定
計	707,765	707,765	
当期収支	1,747	221,747	

次期繰り越し	1,446,557	1,444,810
--------	-----------	-----------

ハンガリー医科大学 事務局紹介

ハンガリー医科大学(セグド大学)卒業式



ハンガリー医科大学事務局(HMU)は、2006年からハンガリーの4国立大学医学部(センメルweis大学、ペーチ大学、セグド大学、デブレツェン大学)に医師を志す日本人学生を送り出しています。現在、ハンガリーの医学部に在籍している日本人学生は、今年度の入学生を含め、500名を超えます。また、2013年に1期生が卒業してから毎年多くの卒業生を輩出し、今日現在200名以上が卒業し、日本をはじめ、アメリカやヨーロッパで医師として様々な医療機関で勤務をしています。ハンガリーの医学部を卒業した日本人医師は、英語に堪能であるだけでなく、医療のグローバル化に対応できる優秀な人材であると多くの医療関係者の方々から期待されています。

ハンガリーの医学部に入学するためには、HMUを通じて出願、受験をします。受験科目は英語と生物、化学(または物理)と面接のみで、面接では「どうしても医師になりたい」という熱意とやる気、コミュニケーション能力など人物重視の審査を行っています。一浪や二浪は当たり前の日本の医学部受験と違い、医学の勉強をするスタートラインに容易に立つことができます。

ハンガリーの医学部は日本の医学部と同様に6年制の医学部です。日本の医学部のカリキュラムと異なるのは、教養課程がなく1年生の前期から解剖学など基礎医学の専門教育が始まります。また、授業はすべて英語で行われますので、英語や理科系の科目に不安がある学生は、医学部に入学する前に予備コースから始め、半年から1年間で、生物、化学、物理を英語で学び、医学部での勉強に付いていくための基礎学力を身に付けることもできます。

医学部がある各都市(ブダペスト、ペーチ、セゲド、デブレツェン)には、HMUの学生専用のスタディールーム(勉強部屋)を設置しています。スタディールームでは自習室として、または学生同士の勉強の場、情報交換の場として使用できます。チューターによる勉強会も定期的を開講していますので、日々の医学部の勉強の予習、復習、期末テスト前の試験対策として活用することができます。またスタディールームでは、現地コーディネーターとして日本人とハンガリー人スタッフが駐在していますので、アパート・寮の契約やビザの取得、銀行口座の開設、携帯電話の契約などをはじめ、生活基盤を整えるサポートをしています。また、留学生活中に発生する様々なトラブルに対応しています。



デブレツェン大学の講堂

なお、2014年度からハンガリー政府による日本人対象の奨学金制度が始まり、今まで日本人医学生216名が奨学生として選ばれました。ハンガリー政府奨学金は、医学部6年間の授業料が全額免除となるほか、生活費および住居費の補助、医療保険の付与が含まれますので、今まで経済的に医学部への進学が困難だった優秀な学生にも医師になれる道が開かれています。

EUと日本のダブルライセンスを取得し、英語を駆使できる医師として、グローバルに活躍できることは大きな魅力です。そのような将来の医師像をモチベーションに頑張る覚悟を持った学生に一人でも多くチャレンジをしていただきたいのがハンガリーの医学部です。

お問い合わせ先:ハンガリー医科大学事務局
163-1307 東京都新宿区西新宿6-5-1
新宿アイランドタワー7F 03-5321-6771
<https://www.hungarymeical.org>

中谷治芳

サークル会員紹介

ハンガリー文芸クラブ



当クラブは、1992年に東京近辺のハンガリー語関係者がハンガリー文学や文化に関するテーマの情報交換のため、定期的に会合を持つようにはじまりました。メンバーは約10名で、ハンガリー人のメンバーもおり、現在不定期に土曜日の2時から4時まで例会を開催しています。

またこれまでのハンガリー文芸クラブ編/訳による主な活動として、2000年第3回ハンガリー・フェスティバルの作家エステルハージの招聘の際に、彼のエッセイ集『黄金のブダペスト』を未知谷より、2009年の詩人・劇作家ヴィシュキの来日時には『ヴィシュキ・アンドラシュ対訳小詩選』を当クラブにより、それぞれ発行致しました。

今後もオンラインのほか友好協会事務所で各人の関心のあるテーマ発表と討議を行っていきます。ハンガリー文学にご関心のある方のご参加をお待ちしております。

ハンガリー文芸クラブ事務局 柴なほ

カリコー・カタリン、クラウス・フェレンツ ノーベル生理学・医学賞、物理学賞 受賞



2023年10月2日、新型コロナウイルスに対するmRNAワクチンを開発したということで、カリコー・カタリン氏は、ドリュウ・ワイズマン氏とともに、ノーベル生理学・医学賞を獲得しました。

クラウス・フェレンツ氏については、京都大学廣理英基 准教授が「パルスレーザー技術をゼロからつくりあげたパイオニア、ノーベル物理学賞受賞」として京都新聞に掲載されています。ハンガリー友好協会会報では、2021年12月28日の173号でも「カリコー・カタリンは、ハンガリーの英雄!」として増田ユリヤ氏の著書『カタリン・カリコ: mRNAワクチンを生んだ科学者』ポプラ社を紹介しています。1千万人口で二人もノーベル賞、素晴らしいことですね!

水泳世界選手権2023福岡大会

水泳世界選手権2023は7月14日から30日まで福岡で開催され、ハンガリーの選手たちが4つのメダルを獲得するなど、各種目で活躍を魅せました。

ハンガリーはオリンピックでのメダル数歴代一位を誇る水球王国です。男子水球チームは1964年の東京オリンピックの金メダルを含め9回優勝、2020年東京オリンピックでは男子、女子ともに銅メダルを獲得しました。2022年ブタペストで開催された世界選手権では女子チームが銀メダルを取りましたが、今大会では男子水球チームが決勝で大接戦の末ギリシャチームに勝利、2013年のバルセロナ大会以来10年ぶりに4回目の世界選手権優勝を飾り、ハンガリー現地は歓喜に溢れました。



Photo: Stuber Sándor/vlv.hu

ハンガリーは水球と並び、競泳とオープンウォータースイミングでも強豪国の一つです。今大会、競泳では世界新記録保持者のホッサー・カティンカ選手と2020年東京オリンピック金メダリストのミラーク・クリストフ選手のベテラン2人が欠場する中、20歳のコーシュ・フーベルト選手が200m背泳ぎで堂々の金メダルを獲得する活躍を披露しました。そしてオープンウォータースイミングでは、混合団体チームと10kmでラソフスキー・クリーシュトフ選手が銀メダルを獲得しました。

来年パリで開催されるオリンピックに向けて、世代交代の中激しいポジション争いを繰り広げているハンガリーチームと選手たちの、更なる活躍が期待されています。

ハンガリー文化センターの新所長が来日され ハンガリー友好協会に挨拶を頂きました！

日本ハンガリー友好協会の皆様！

この度リスト・ハンガリー文化センターの新所長として着任しましたメレーニ・クリスティーナです。



(ハンガリー文化センターより)

思春期の頃、日本の多様な文化に魅せられハンガリーの大学で日本語を専攻しました。その後、山形県遊佐町で国際理解教育推進員としての小学校での経験がきっかけで、更に日本好きになり、ハンガリー文化紹介を仕事で従事できる外交官になることが私の夢になりました。

大学時代から日本語通訳、ガイド、そして語学教師としての経験を積み、語学関係以外はセゲド大学では新聞学科で、コルヴィヌス大学では外交関係を学び、直近はカーロリ・ガシュパール大学でスーパーヴィジョンとコーチングを専攻しました。

過去30年間には何度か訪日していますが、直近はコロナ下の2021年の東京オリンピックの時でした。2019年、栃木県庁より福田知事のハンガリーとのスポーツ交流のサポート役を公式に依頼され、両国間の架け橋として、事前合宿の準備から様々な調整の任務に携わり、2021年栃木県での事前合宿では5競技、6チームの約100名のため通訳等をしました。これからは文化センター所長の立場で頑張りたいと思います。2024年は東京の文化センター開設5周年に当たりますので、年間を通じて様々なプログラムを予定しています。現在は写真コンテスト・展覧会『私のブダベスト』が開催中ですが、2月からは我が国の食文化を紹介する展示会、恒例のハンガリーフェスティバル(第5回を10月末に予定)を含め色々な企画が続きます。日本ハンガリー友好協会の皆様方には、ぜひたくさんさんのプログラムへの参加をお待ちしております。



今後ともハンガリー文化の紹介のため尽力致しますのでどうぞよろしくお願い致します。
東京都港区麻布十番3-8-1 日比谷麻布十番ビル1階

オルネル＝バーリン・アンナ 新ハンガリー大使が着任されました！



(ハンガリー大使館ホームページより)

お言葉をいただくには間に合いませんでしたので、ハンガリー大使館ホームページより、許可を得て、転載させていただきます。

信任状の捧呈式に先立ち、新大使より外務省事務次官の岡野正敬様に信任状の写しが手渡されました。また、儀典長の島田丈裕様にも表敬訪問がなされました。

オルネル＝バーリン大使は温かく迎えていただいたことに心からの感謝を述べるとともに、両国間の協力関係を強化していく決意を表明されました。

(以上ハンガリー大使館ホームページより転載)



(ハンガリー大使館ホームページより)

2024年新年会 2月3日(土)ハンガリー大使館で開催決定!! 申し込み方法等詳しいことは別紙案内をご覧ください

前回会報以降のカンパ協力者氏名

2023年6月／山田 裕子(埼玉県)、高久 圭二郎・昌子(埼玉県)、町田 浩一・志都香(東京都)、山縣 祥子(兵庫県)、膳所 博美(埼玉県)、瀬川 隆生・知恵子(東京都)、神宮寺 良吉・和美・良友(山梨県)、石坂 政雄(東京都)、清水祥之(千葉県)、小野寺 喜一郎・智子(山形県)、富本 一久(愛知県)、黒川 圭子(東京都)、吉岡 玲子・賢(東京都)、大久保 明・マリ(埼玉県)、大澤 一煌(静岡県)、坂東 俊子(神奈川県)、草山 明久・あゆ子(神奈川県)、草山 昭・幸子(神奈川県)、神庭 雅俊・衣美(東京都)、堤 功一・一美(東京都)、梶山 佳代(茨城県)、黒井 順子(北海道)、松岡 紀子(神奈川県)、笠木 千東(東京都)、杉前 恵子(神奈川県)、鈴木 律子(神奈川県)、宮治 弘・英子(神奈川県)、栗田 裕功・智子(兵庫県)、池田 恒紀(山形県)、高橋 良彰・繁子(山形県)、徳田政太郎(岡山県)、佐藤 信之(東京都)、松本 勉・有理江(神奈川県)、小泉 博(富山県)、古川 隆(東京都)、山崎 孝(東京都)、松永 美恵子(香川県)、2023年7月／佐藤昌彦(山形県)、根岸 敦親・直子(茨城県)、保坂 岳(奈良県)、福井 直敬(東京都)、安田 宣秀(東京都)、2023年8月／梶川 久美子(京都府)、萩原 淑子(東京都)、2023年9月／渡辺 真美(東京都)

カンパ頂きましてありがとうございます。金額につきましては、カンパそのものを多とさせて戴きまして、不掲載と致します。

(敬称略)

新規入会者のご紹介(2023年)

7月 セーレン株式会社(福井県)、安田 宣秀

11月 丸紅株式会社(東京都)

(敬称略)

会報のオンライン化に伴うお知らせ

(2023年11月8日理事会承認)

ハンガリー友好協会会員の皆様。いつも会報を読んで頂き、またご投稿を頂き、ありがとうございます。コロナ前から、何度かアンケートを取らせて頂き、御案内をいたしましたように、印刷の会報を全員にお送りするのは今回が最後になります。次回178号からは、メールでURLをお知らせし、ホームページへのオンライン上で読んでいただけるようになります。

これにより、すべての写真を美しいカラーにできる、又いつでもどこでも、駅や出張先で、ハンガリーや世界中から、会報にアクセスできるようになり、ダウンロードも検索も自由にできるようになります。海外の方々も自由に読めるようになり、大変便利です。探すこともなくなります。既に現在5年分、8号分をホームページに入れておりますが、通し読みしたり、比較したり、どの号にあったかを探すことも簡単にできるようになります。お友達や法人に紹介する際にも添付でもURLでもお送りできます。

できればハンガリー文化センターや、大使館にもリンクを張っていただけるよう、検討中です。

他方、オンラインをお使いにならない方、またアンケートで紙媒体を希望と書いて頂いた方々につきましては、原則2025年までの2年間について、印刷物をお送りする予定にしております。2025年になりましたら改めて、それらの方々について検討予定です。オンライン化は長所も満載で、時代の流れでもあります。オンラインを使われない会員にも負担にならないように心掛けます。ご希望・ご意見がありましたら事務局までご連絡ください。皆様のご理解と御協力を心よりお願い申し上げますとともに、これからもハンガリー友好協会と会報、またホームページやブログもどうぞよろしくお願ひいたします。(新ホームページは現在刷新準備中です。お楽しみに！)

編集後記

これまでにない暑い夏でしたね。と思っているうち、急に寒さがやってきました。ホワイトクリスマスになるといいですね。大使と文化センター所長がともに変わられ、新しい時代が到来します。新ハンガリー大使、新ハンガリー文化センター所長と共に、ハンガリー友好協会も、皆様方と共に、上り龍の、すばらしい1年になりますように！どうぞよろしくお願ひいたします。

広報委員会：羽場久美子、東孝江、田崎龍一、萩原淑子、中谷治芳、佐々波浩一





おいしいを贈る

ESSENCIA

Since 1991



世界三大貴腐ワイン トカイ・アスー・ 6プットニョシュ

深みのある琥珀色で濃厚な蜂蜜やドライプラム、ローストアーモンド、チョコレートの香りが感じられます。

濃厚な甘みが穏やかな酸とアルコール分にバランスよく支えられ、樽由来のタンニンが熟成感を伴いながら余韻の味わいへと導きます。

フォアグラのテリーヌ、ブルーチーズ、チョコレートケーキなどによく合います。



DR HONEY
食のオスカー
「グレート・テイスト・アワード」受賞!

アカシアの森からの贈り物 ハンガリー アカシアはちみつ

広大で豊かなアカシアの森で採れたハンガリーのアカシアはちみつは、「はちみつの女王」と呼ばれています。クセがなく上品で繊細な味と香り。パンやヨーグルト、料理はもちろん、ドリンクの甘味料としてもおすすめです。



アカシアの花

スズキビジネス 特販事業部

〒431-0201 静岡県浜松市西区篠原町 21339
TEL.053-440-1098 FAX.053-448-9541
ご希望の方に通販カタログ「Essencia」をお届けします。



おいしいを贈る

ESSENCIA

<https://hungary-wine.com/>

ハンガリーのワインとはちみつにこだわり約30年。
ハンガリーワインの取り扱い種類は国内最大級!



アクセスはこちら▲